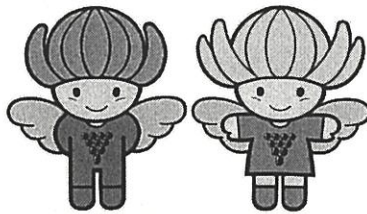


平成26年度

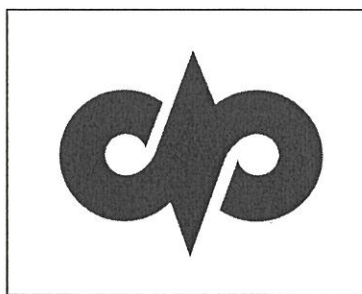
議会要覧



菊とぶどういで湯の里・南陽

Nanyo

南陽市議会事務局



この市章は南陽市の「ナ」を紋章化し、市民の団結と融和を図り市の限りない発展を象徴したものです。

(昭和42年4月1日制定)

南陽市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と太陽に恵まれた南陽の市民です。

南陽市は、北に丘陵、南に沃野、すぐれた伝統と歴史をもった未来あるまちです。

わたくしたちは、このまちの市民であることに誇りをもち、より豊かな住みよいまちを築くために、力をあわせ、進んでこの憲章をまもります。

1. 緑と水を大切にし、きれいなまちをつくりまします。
1. 心とからだをきたえ、明るいまちをつくりまします。
1. きまりを守り、たすけあって楽しいまちをつくりまします。
1. 働くことに誇りをもち、豊かなまちをつくりまします。
1. 教養を深め、かおり高い文化のまちをつくりまします。

(昭和51年5月1日制定)

目 次

地 勢・沿 革	1
I 市 の 概 要	3
II 議 会	
1. 議員の構成	4
2. 議員名簿	5
3. 議会の構成	6
4. 議会の運営	8
5. 印刷物	8
6. 特別職報酬	9
7. 旅費・調査費・その他	9
8. 歴代議長	10
9. 歴代副議長	10
10. 歴代事務局長	11
11. 議会事務局	11
III 議会活動状況	
1. 議会開催状況	12
2. 議案提出状況	13
3. 議案・議決状況	14
4. 請願処理状況	14
5. 一般質問者数	14
6. 傍聴者数	14
7. 一般質問	15
8. 議員発議状況	17
9. 請願審査結果	18
10. 各常任委員会等行政視察状況	18
11. 行政視察来市状況	19
IV 行 財 政	
1. 南陽市行政機構図	20
2. 歴代市長	22
3. 歴代助役・副市長	22
4. 歴代収入役	22
5. 平成26年度議会費予算	23
6. 平成26年度一般会計予算	24
7. 平成26年度一般会計・特別会計・企業会計予算	26
8. 平成26年度一般会計歳出予算（性質別予算）	27

地勢・沿革

南陽市は、東に奥羽山脈をひかえ、南から西にかけて吾妻山系と飯豊山系に囲まれた山形県南部の置賜盆地に位置し、北部は山地で南に沃野が開け気候にも恵まれており、米、野菜、果樹などの栽培に適している。

また、風光明媚な県南県立自然公園や赤湯温泉など、豊富な観光資源を有する地理的条件に恵まれ、鉄道道路交通網にも恵まれた県南地方の要衝の地にある。

市内の長岡丘陵からは、約1万数千年位前（旧石器時代）の石器が発見されており、既にこの頃には人間が住んでいたと考えられ、この当時の人口は、今の南陽市地域では、おそらく10人とか20人位であったと考えられる。

土器を使うようになった縄文時代（約12,000～2,000年位前）の遺跡は、須刈田の大野平遺跡や宮内の久保遺跡など市内に70カ所以上あり、当時の住居跡や土器（生活用具）石器（生産、狩り、信仰の用具）など数多く発見されている。

今から約2,000年位前（弥生時代）になると、萩生田出土の石包丁（石製の穂つみ具）が示すとおり、この地方にも稲作文化が伝わった。

農業生産力が高まった次の古墳時代（4～8世紀）には、はじめに長岡の稲荷森古墳（全長96mの前方後円墳、国指定史跡）、その後に上野や二色根地区の小型の古墳がつけられた。

奈良時代、平安時代（8～12世紀）には、政治や行政の仕組みも大分整い、市内郡山地区には当時の郡役所があったと考えられている。

また、宮内の熊野大社や、赤湯の薬師寺の創建も9世紀ごろと伝えられているように、仏教文化が栄えるとともに、文字、税など、今の生活の原形がつけられた時代である。

武家政治の鎌倉時代（1192年～）には、幕府は大江時広を当地方（長井荘）の地頭に任じ、以後八代もその支配は続いた。

また、このころからこのあたりを北条郷と呼んでいたことが古文書からうかがい知ることができる。

14世紀、室町時代になると、天授6年（1380年）、伊達氏の支配に変わる。

これらの時代の仏教信仰の深さは、竹原の「正元元年大日板碑」（県内最古、県指定）他、数多い板碑などによりしのばれる。

戦国時代にかけての伊達氏の支配は、宗遠から独眼竜として知られる政宗が岩出山に移封されるまで211年間も続いた。

のち、蒲生氏が7年間支配、1598年から明治維新にいたるまで上杉氏の支配となる。この時代に市内各地の特色が生まれた。

明治2年、版籍奉還とともに上杉茂憲が藩知事に任ぜられたが、地方は従来どおり代官制であった。

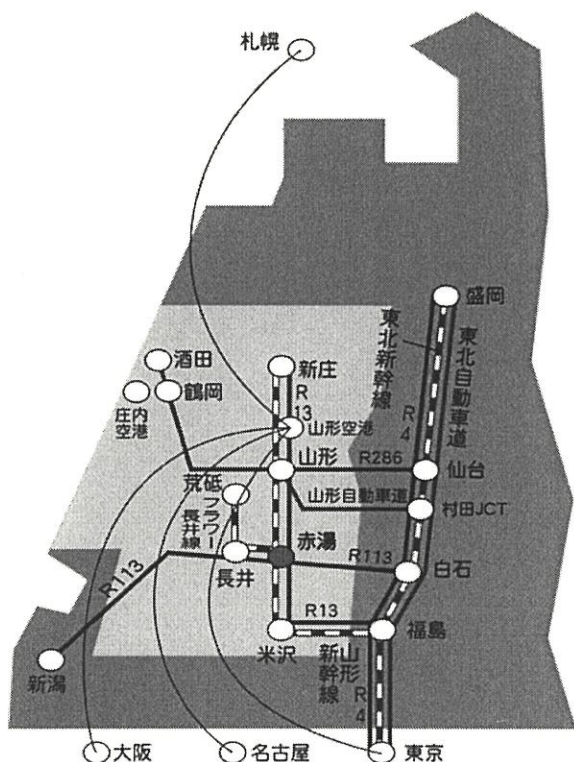
明治4年7月廃藩置県によって米沢県に、同年11月置賜県と改められるとともに五郡制を廃し27区小区に分割、明治6年28区小区に分けた。

昭和30年、宮内町、漆山村、吉野村、金山村が合併し宮内町、沖郷村と梨郷村が合併し和郷村、赤湯町と中川村が合併し赤湯町となった。

昭和42年4月1日、宮内町、赤湯町、和郷村の2町1村が合併し、山形県下13番目の市、南陽市が発足した。

新市名については、当時の県知事安孫子藤吉氏が名づけ親となり、「南陽の菊水」から「北に丘陵・南に沃野、まことに住みよいところ」の字義をもって「南陽市」と命名された。

●アクセスマップ●



熊野大社 南陽市宮内地区にある熊野大社は、日本三熊野に数えられています。毎年7月下旬には1200年近くも続いている例大祭が開催されます。24日の「宵祭り」には「チゴタゴ」（稚児舞・舞楽）が舞殿で奏される他、祭りの期間中、箱ばよい、獅子ばよい、梵天ばよい、御輿下り等々、様々な行事が行われます。

■車をご利用の方

東京——(東北自動車道 約4時間)——福島飯坂IC——(国道13号 約1時間)——南陽市

新潟——(国道113号 約2時間40分)——南陽市

仙台——(東北自動車道 約40分)山形蔵王IC——(国道13号 約50分)——南陽市

仙台——(東北自動車道 約25分)白石IC——(国道113号 約1時間20分)——南陽市

■列車をご利用の方

東京——(山形新幹線 約2時間30分)——南陽市(赤湯駅)

■飛行機をご利用の方

東京(羽田)——(約1時間)——山形空港——(国道13号 約1時間10分)——南陽市

名古屋——(約1時間5分)——山形空港——(国道13号 約1時間10分)——南陽市

大阪(伊丹)——(約1時間20分)——山形空港——(国道13号 約1時間10分)——南陽市

I 市の概要

1. 市制施行 昭和42年4月1日
2. 人口 33,181人 (男15,847人・女17,334人)
世帯数 11,150世帯
(平成26年4月1日現在)
3. 面積 160.70Km²

土地利用状況 (地目別面積)

(単位: Km²)

田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他	計
20.02	14.37	8.52	0.19	83.24	0.46	3.74	4.31	25.85	160.70

平成25年1月1日現在

4. 産業別就業者数

年次 産業	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
総数	19,423	100%	18,886	100%	18,089	100%	16,344	100%
第1次	2,909	15.0	2,561	13.6	2,234	12.3	1,840	11.3
第2次	7,362	37.9	6,919	36.6	6,055	33.5	5,217	31.9
第3次	9,148	47.1	9,405	49.8	9,734	53.8	9,123	55.8
分類不能	4	0	1	0	66	0.4	164	1.0

(国勢調査より)

5. 都市形態 平地農村都市

6. 市の木 (さくら)



日本古来から愛され、春を象徴する花として市民のだれもが親しみ、心のよりどころとしてきた樹木で、昭和62年4月1日、市の木として制定。

市の花 (きく)



伝統ある“南陽の菊まつり”にちなみ、市の花としてふさわしく、昭和62年4月1日、市の花として制定。

◎赤湯温泉桜まつり

◎菊まつり

II 議 会

1. 議員の構成

(1) 議員数

条 例 定 数	17人	
現 員 数	17人	(平成24年の一般選挙より)

(2) 任 期

現 議 員	平成24年4月1日～平成28年3月31日
正 副 議 長	議員申し合わせにより2年(再任妨げない)
常 任 委 員 会	委員会条例第3条により2年
議 会 運 営 委 員 会	常任委員の任期に準用

(3) 党派別議員

(平成26年4月4日現在)

党 派 別	人 員	会 派 別	人 員
公 明 党	1	新 政 会	3
日 本 共 産 党	1	保 守 ・ 公 明 ク ラ ブ	3
無 所 属	15	倫 政 会	3
		希 望	3
		真 風 会	2
		会派に所属していない議員	3
計	17	計	17

(4) 年齢別議員数

(平成26年4月1日現在)

年齢 (歳)	～40	41 ～45	46 ～49	50 ～55	56 ～59	60 ～65	66 ～69	70～	計
人員	0	1	0	1	2	8	3	2	17

・最低年齢45歳 ・最高年齢74歳 ・平均年齢62.5歳

(5) 当選回数別議員数

(平成26年4月1日現在)

回数	1	2	3	4	5	6	7	計
人員	4	6	3	1	0	0	3	17

2. 議員名簿

議 長 遠 藤 榮 吉

副議長 高 橋 篤

議 席 順

(平成26年4月4日現在)

NO	議員氏名	生年月日	年齢	住 所	電 話	所属政党	当選
1	白 岩 孝 夫	S44.01.29	45	南陽市赤湯947	43-2154	無所属	1
2	高 橋 一 郎	S31.01.07	58	南陽市柵塚587-10	43-2559	無所属	1
3	船 山 利 美	S29.02.22	60	南陽市梨郷1298-2	47-7672	無所属	1
4	山 口 正 雄	S23.11.02	65	南陽市宮内2421-16	47-3740	無所属	1
5	白 鳥 雅 巳	S30.02.17	59	南陽市三間通609-1	40-3750	公明党	2
6	片 平 志 朗	S27.07.31	61	南陽市宮内2992-1	47-4828	無所属	2
7	吉 田 美 枝	S27.07.14	61	南陽市宮内349-43	47-3990	無所属	2
8	梅 川 信 治	S24.07.29	64	南陽市三間通1222-9	43-3651	無所属	2
9	川 合 猛	S22.01.25	67	南陽市川樋2745-内2	49-2648	無所属	2
10	高 橋 弘	S21.10.17	67	南陽市下荻353-1	41-2207	無所属	2
11	板 垣 致江子	S27.04.03	62	南陽市蒲生田1370-3	47-4521	無所属	3
12	高 橋 篤	S27.01.16	62	南陽市蒲生田867	47-2508	無所属	3
13	田 中 貞 一	S26.01.26	63	南陽市鍋田885-2	43-5466	無所属	3
14	遠 藤 榮 吉	S33.08.25	55	南陽市宮内386	47-2861	無所属	4
15	佐 藤 明	S20.09.25	68	南陽市二色根79-4	43-6199	日本共産党	7
16	伊 藤 俊 美	S16.02.10	73	南陽市金山5566-4	59-5225	無所属	7
17	殿 岡 和 郎	S14.10.02	74	南陽市荻830	41-2440	無所属	7

3. 議会の構成

(1) 常任委員会

委員会	定数 (人)	現員 (人)	所管事項
総務	5	5	総務課、企画財政課、税務課、危機管理課、文化会館整備課、会計課、選挙管理委員会事務局及び監査委員事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項に関する調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
文教厚生	6	6	福祉課、保健課、市民課及び教育委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
産業建設	6	6	商工観光ブランド課、農林課、建設課、上下水道課及び農業委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。

(2) 委員会名簿

(平成26年4月4日現在)

総務常任委員会 (5)		文教厚生常任委員会 (6)	
委員長	白鳥雅巳	委員長	吉田美枝
副委員長	山口正雄	副委員長	舩山利美
委員	板垣致江子	委員	高橋一郎
委員	田中貞一	委員	梅川信治
委員	佐藤明	委員	遠藤榮吉
		委員	伊藤俊美

産業建設常任委員会 (6)			
委員長	川合猛	副委員長	白岩孝夫
委員	片平志朗	委員	高橋弘
委員	高橋篤	委員	殿岡和郎

議会運営委員会(5)		議会報編集委員会(6)	
委員長	梅川信治	委員長	高橋一郎
副委員長	川合猛	副委員長	舩山利美
委員	白鳥雅巳	委員	白岩孝夫
委員	高橋弘	委員	山口正雄
委員	板垣致江子	委員	片平志朗
		委員	板垣致江子

● 置賜広域行政事務組合議会議員

◎遠藤 榮吉 ◎川合 猛 ◎高橋 弘

● 置賜広域病院組合議会議員

◎遠藤 榮吉 ◎高橋 篤 ◎殿岡 和郎

● 監査委員 ◎高橋 弘

● 農業委員 ◎舩山 利美

- 会派会長 ◎新政会 高橋 弘 ◎保守・公明クラブ 白鳥 雅巳
◎倫政会 梅川 信治 ◎希望 川合 猛
◎真風会 板垣 致江子

(3) 特別委員会

委員会名	設置年月日	構成	設置目的
予算特別委員会		議長を除く全議員 16人	一般会計、特別会計、企業会計とも予算案の審査を行う。
決算特別委員会		議長と議会選出の監査委員を除く全議員 15人	一般会計、特別会計、企業会計とも9月定例会で決算案の審査を行う。

(4) 議員全員協議会

市政及び議会全般に係る事項に関し協議又は調整を行う。

(5) 会派会長会

各会派間の意見の調整、連絡又は諸協議を行う。

4. 議会の運営

(1) 議会運営委員会

- ・委員数…………… 5人
- ・構成…………… 会派の所属議員数での按分
- ・開催時期…………… 原則、議会開会3日前に開催する。(土日及び祝日の時は前日開催)

(2) 一般質問

- ・通告書提出期限…………… 議運開催日2日前の正午まで。(受付は通告書提出期限の1週間前からとする。)ただし3月定例会については、議運開催日の午前10時までとする。
- ・質問通告書の記載内容…………… 質問要旨はできるだけ詳細に記載し、確答を得られるよう配慮するものとする。
- ・質問方式及び時間…………… 一問一答方式で、初回のみ登壇し、一括質問一括答弁とする。また、時間は質疑答弁合計50分以内とする。
- ・発言の順序…………… 通告受付順とする。

(3) 予算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも予算特別委員会に付託し審査する。

(4) 決算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも9月定例会で決算特別委員会に付託し審査する。

(5) 請 願

- ・提出期限は、議運開催日2日前の正午とし、それ以降に提出されたものは、次の定例会で審査する。
- ・請願文書表は、全文記載する。

(6) 陳情・要望

- ・陳情書、要望書についてはコピーしたものを配布のみとする。

5. 印刷物

(1) 会議録

- ・業者に委託 ・A4判 横2段組 ・85部作成 ・予算960千円

(2) 議会報

- ・年4回 定例会毎に発行(臨時号発行もある)
- ・11,500部発行(地区長を通じて市内全世帯に配布)・予算962千円
- ・編集は、常任委員会毎に選出された議会報編集委員6人によるものとする。

6. 特別職報酬及び給料

(単位：円)

職名	元年4.1改正	2.4.1改正	4.4.1改正	6.6.1改正	9.4.1改正	18.9.21改正
議長	340,000	360,000	400,000	425,000	435,000	
副議長	305,000	322,000	355,000	375,000	385,000	
議員	285,000	300,000	330,000	350,000	360,000	
市長	700,000	770,000	850,000	900,000	920,000	(460,000)
副市長 (H19.4.1～)	535,000	580,000	640,000	680,000	695,000	(347,500)
収入役	460,000	500,000	540,000	580,000	595,000	H18.10.1～ 廃止
教育長 (給料)	440,000	470,000	510,000	540,000	550,000	18.12.21改正 (385,000)

※市長・副市長の()は減額時の報酬額。H18.9.1～H22.7.29まで50%を減額。
 教育長の()は減額時の給料額。H18.12.1～H22.7.29まで30%を減額。

区分	期末手当		
	6月	12月	計
支給割合	$\frac{137.5}{100}$	$\frac{147.5}{100}$	$\frac{285}{100}$
加算割合	$\frac{140}{100}$		

※22.11.29改正

7. 旅費・調査費・その他

☆ 調査旅費

・ 常任委員会	1人年額	120,000円
・ 議会運営委員会	〃	120,000円
・ 議会報編集委員会	〃	70,000円

☆ 補助金

- ・ 政務活動費 1人月額10,000円を年度当初にまとめて会派に交付

☆ 費用弁償

区分	日当(1日)	宿泊料(1夜)	車賃(1km)
議長・市長	3,000円	14,800円	37円
副議長・副市長	2,700円	13,100円	
議員	2,600円		

☆ 交際費 ・ 議会 800千円 ・ 市 1,430千円

8. 歴代議長

代位	氏名	生年月日	就任年月日	退任年月日
初代	長嶋松五郎	M. 37. 11. 10	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	長島総兵衛	M. 43. 4. 30	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	青木清信	M. 43. 3. 3	49. 4. 8	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 2. 4
4	小川宮次	M. 35. 11. 28	53. 2. 8	53. 4. 3
〃	〃	〃	53. 4. 3	55. 3. 31
5	山口五三郎	T. 8. 3. 28	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
〃	〃	〃	59. 4. 6	61. 4. 2
〃	〃	〃	61. 4. 2	63. 3. 31
6	高橋吉美	T. 14. 11. 7	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
〃	〃	〃	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
〃	〃	〃	4. 4. 7	6. 4. 5
7	荒井幸昭	S. 15. 6. 23	6. 4. 5	8. 3. 31
〃	〃	〃	8. 4. 5	10. 4. 6
8	渡部敬	S. 6. 8. 3	10. 4. 6	12. 3. 31
9	小林啓市	S. 11. 9. 12	12. 4. 7	14. 4. 5
10	栗原晴峰	S. 22. 4. 14	14. 4. 5	16. 3. 31
11	塩田秀雄	S. 27. 12. 11	16. 4. 7	18. 4. 7
12	小野健一郎	S. 18. 9. 3	18. 4. 7	20. 3. 31
13	伊藤俊美	S. 16. 2. 10	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
14	遠藤榮吉	S. 33. 8. 25	24. 4. 4	26. 4. 4
〃	〃	〃	26. 4. 4	在職中

9. 歴代副議長

代位	氏名	生年月日	就任月日	退任月日
初代	船山新助	M. 31. 8. 8	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	遠藤東平	T. 5. 11. 7	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	須貝庄作	M. 41. 12. 16	49. 4. 8	50. 4. 4
4	佐藤忠三郎	M. 42. 10. 17	50. 5. 13	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 4. 3
5	小林富市	M. 42. 1. 20	53. 4. 3	55. 3. 31
6	武田三郎	S. 4. 8. 22	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
7	高野真雄	T. 4. 11. 20	59. 4. 6	61. 4. 2
8	高橋吉美	T. 14. 11. 7	61. 4. 2	63. 3. 31
9	加藤馨	S. 6. 10. 20	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
10	嶋貫幸男	S. 3. 3. 15	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
11	大坂正十四	T. 14. 9. 22	4. 4. 7	6. 4. 5
12	岩井一敏	S. 16. 1. 27	6. 4. 5	8. 3. 31
13	渡部敬	S. 6. 8. 3	8. 4. 5	10. 4. 6
14	五十嵐諒	S. 22. 2. 13	10. 4. 6	12. 3. 31
15	殿岡和郎	S. 14. 10. 2	12. 4. 7	14. 4. 5
16	小野田貞一	S. 5. 2. 24	14. 4. 5	16. 3. 31
17	伊藤俊美	S. 16. 2. 10	16. 4. 7	18. 4. 7
18	鈴木英昭	S. 17. 9. 14	18. 4. 7	20. 3. 31
19	桑原仁	S. 23. 2. 05	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
20	田中貞一	S. 26. 1. 26	24. 4. 4	26. 4. 4
21	高橋篤	S. 27. 1. 16	26. 4. 4	在職中

10. 歴代事務局長

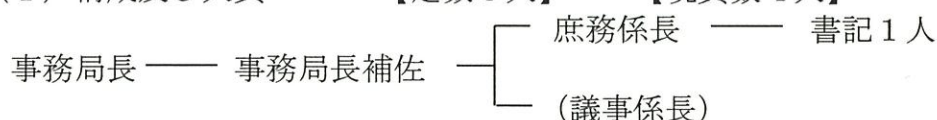
代位	氏名	就任月日	退任月日	摘要
初代	山田貞雄	S.42. 4. 1	S.47. 3. 31	
2	阿部内蔵之助	47. 4. 1	52. 3. 31	
3	清水辰雄	52. 4. 1	54. 3. 31	
4	斎藤武	54. 4. 1	61. 3. 31	
5	竹田光雄	61. 4. 1	62. 5. 31	
6	志藤和光	62. 6. 1	H. 1. 3. 31	
7	笹木明夫	H. 1. 4. 1	4. 3. 31	
8	桑原弘	4. 3. 31	6. 3. 31	
9	平宮雄	6. 4. 1	8. 3. 31	
10	清水勝美	8. 4. 1	10. 3. 31	
11	長岡昭広	10. 4. 1	15. 3. 31	
12	鈴木勝	15. 4. 1	17. 3. 31	
13	樋口一志	17. 4. 1	18. 3. 31	
14	佐藤正昌	18. 4. 1	20. 3. 31	
15	須藤公一	20. 4. 1	22. 3. 31	
16	斉藤彰助	22. 4. 1	24. 3. 31	
17	中條晴雄	24. 4. 1	25. 3. 31	
18	大沼豊広	25. 4. 1	在職中	

11. 議会事務局

(1) 構成及び人員

【定数6人】

【現員数4人】



● 職員数

(平成26年4月1日現在)

	市長 部局	議会	教委	農委	選挙	監査	公営	合計
定数	271	6	87	8	3	3	23	401
職員数	200	4	62	4	3	3	18	294

※監査3人の内、2人は、選挙管理委員会事務局と併任職。

(2) 議会棟の現況

昭和57年4月25日竣工

● 議会棟面積等

議席	30席	議長・副議長室	36.5 m ²
執行部席	30席	議長公室	71.5 m ²
速記者席	2席	議員控室(1室)	113.0 m ²
一般傍聴席	41席	議員全員協議会室	109.5 m ²
記者席	5席	委員会室(2室)	74.0 m ²
事務室	39.8 m ²	図書室	39.0 m ²
議場	217.5 m ²	モニタ一室	12.5 m ²
		傍聴席	61.5 m ²

Ⅲ 議会活動状況(平成25年分)

1. 議会開催状況

区分	会期日程	会期日数	本会議日数	議案件数			決議態様						本会議時間数	
				市長提案	議員提案	計	可決	同意	認定	承認	撤回	その他		
定例会	3月	3月4日 ～21日	18	4	31	3	34	31	1		1		1	9:52
	6月	6月7日 ～21日	15	4	13		13	9	1				3	8:01
	9月	9月3日 ～20日	18	3	28	4	32	17	1	10	3		1	5:50
	12月	12月6日 ～20日	15	4	16		16	16						7:46
	小計		66	15	88	7	95	73	3	10	4		5	31:29
臨時会	1回	3月29日	1	1	2		2	2						0:17
	2回	4月22日	1	1	6		6	3					3	0:34
	3回	10月21日 ～22日	2	2	1		1	1						2:01
	小計		4	4	9		9	6					3	2:52
合計		70	19	97	7	104	79	3	10	4		8	34:21	

2. 議案提出状況

区 分		議 決 事 件										
		条 例	予 算	決 算	意 見 書	決 議	専決処分		同 意	契 約	そ の 他	合 計
							条例	予算				
定 例 会	3月	15	15		1			1	1		1	34
	6月	4	2						1		6	13
	9月	1	10	10	4			3	1		3	32
	12月	7	3								6	16
	小計	27	30	10	5			4	3		16	95
臨 時 会	1回		2									2
	2回	3									3	6
	3回										1	1
	小計	3	2								4	9
合 計		30	32	10	5			4	3		20	104

3. 議案・議決状況

(1) 市長提出付議事件数

区	分	原案可決	修正可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	件数合計
地方自治法第96条1項議決事件	条 例(1号)	28		1				29
	予 算(2号)	32						32
	決 算(3号)	10						10
	4号から14号までの議案	3		1				4
専 決 処 分 案 件		4						4
地方自治法第96条1項15号及び96条2項を含むその他すべての議案		18						18
合 計		95		2				97

(2) 議員提出付議事件数

区 分	原案可決	修正可決	否 決	継続審議	審議未了 撤 回 そ の 他	合 計
条 例	1					1
規 則						
意 見 書	5					5
決 議						
そ の 他	1					1
合 計	7					7

4. 請願処理状況

採 択	不採択	翌年へ繰越	取り下げ	審議未了	受案件数
4	1				5

5. 一般質問者数

3月定例会 (2日)	6月定例会 (2日)	9月定例会 (1日)	12月定例会 (2日)	合 計 (7日)
8人	7人	5人	8人	28人

6. 傍聴者数

(報道関係者除く)

3 月 定例会	6 月 定例会	9 月 定例会	12 月 定例会	臨時会	委員会	合 計
23 人	25 人	21 人	29 人	13 人	9 人	120 人

7. 一般質問

3月定例会

質問者	質問事項
高橋 一郎	1. 新文化会館について 2. 学校教育について
白岩 孝夫	1. 長期的に安定した財政基盤確立のための公共施設マネジメントの必要性について 2. 電気料金値上げに対する対処について
高橋 弘	1. 平成25年度施政方針を受けて
白鳥 雅巳	1. 危機管理及び防災会議について 2. 通学路の安全確保について
山口 正雄	1. ドクターヘリの冬季間におけるランデブーポイント確保について 2. 新文化会館建設関連について
吉田 美枝	1. 地域経済の振興と農業全般について
片平 志朗	1. 高齢者の入浴事故防止について 2. 再生可能エネルギーの取組について
佐藤 明	1. 再生可能エネルギーに対する考え方と導入について 2. 施政方針について

6月定例会

質問者	質問事項
高橋 一郎	1. 健康のまちづくりについて
船山 利美	1. 公表データから想定される深刻な人口減少への対策について 2. 生活保護法改正の影響について
板垣 致江子	1. 産業のまちづくり
片平 志朗	1. 少子化に伴う部活動のあり方について 2. 増える金属スクラップ火災の防止について

6月定例会

質問者	質問事項
川合 猛	1. 南陽の菊まつりについて 2. 南陽市の教育について
佐藤 明	1. 安倍政権の経済対策（「アベノミクス」）について 2. 東北中央自動車道及び梨郷道路について
白鳥 雅巳	1. AED訓練等に関する教育現場での取り組みについて 2. がん対策の取り組みについて 3. 甚大な災害発生後の支援について

9月定例会

質問者	質問事項
高橋 一郎	1. 災害予防対策計画について
片平 志朗	1. 災害ボランティアの受け入れ態勢の強化について
白岩 孝夫	1. 災害時における広報体制について 2. 小学6年生までの医療費無償化について
白鳥 雅巳	1. 災害に強い町づくりについて 2. 災害協力（相互応援協定）の提携推進について 3. 友好姉妹都市の積極的な取り組みについて
吉田 美枝	1. 消費者行政について 2. 障がい者福祉施策について

12月定例会

質問者	質問事項
船山 利美	1. 7・18、22の豪雨災害を検証し、今後の防災の取組について 2. フラワー長井線の今後の在り方について
高橋 弘	1. 自然災害の予防対策について

12月定例会

質問者	質問事項
山口正雄	1. 向山ソフトボールB球場周辺の環境整備充実について 2. 新文化会館の管理運営計画について
白岩孝夫	1. 公共施設マネジメントから見た各施策の長期的プランについて
高橋一郎	1. 池黒峰岸地区災害予防対策について 2. 日本一の教育について 3. ふるさと納税制度と南陽ブランド
板垣致江子	1. 産業のまちづくり
佐藤明	1. 来年度の予算編成と新文化会館について 2. 介護保険について
白鳥雅巳	1. 空き家バンク事業についての取組を 2. 少子化に対する子育て支援策について

8. 議員発議状況及び審査結果

区分	発議番号	件名	審査結果
3月定例会	第1号	南陽市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	第2号	T P P交渉参加反対を求める意見書の提出について	原案可決
9月定例会	第3号	新聞の軽減税率に関する意見書の提出について	原案可決
	第4号	T P P交渉に関する意見書の提出について	原案可決
	第5号	地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について	原案可決
	第6号	ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書の提出について	原案可決

9. 請願審査結果

番 号 (付 託 委員会)	件 名	請 願 者	議 決 年月日	結 果
第1号 (産業建設)	TPP交渉参加反対に関する件 について	山形おきたま農業協 同組合 経営管理委員会 会長 木村 敏和 山形おきたま農協農 政対策本部 本部長 木村 敏和	25. 3.21	採 択
第2号 (文教厚生)	南陽市農業振興対策に関する請 願	山形おきたま農業協 同組合 経営管理委員会 会長 木村 敏和	25. 3.21	採 択
第3号 (総務)	地方公務員給与費に係る地方 交付税の削減措置の撤回につ いて	東置賜地区平和セン ター南陽地区協議会 議長 小松 武美	25. 3.21 25. 9.20	継続審査 不採択
第4号 (総務)	新聞への消費税軽減税率適用を 目指し、政府への意見書提出に ついて	小 林 恵 一	25. 9.20	採 択

10. 各常任委員会等行政視察状況

委 員 会 名	視 察 地	視 察 事 項
総務常任委員会 7月4日～6日	長崎県平戸市 佐賀県武雄市	1. ファイスブックの活用について 1. フェイスブックの活用について 2. 空き家対策について
新文化会館建設検討 特別委員会 7月9日～10日	岩手県遠野市 山形市・寒河江市	1. 協同組合「遠野グルーラム」工場施設の 視察 2. 「株式会社シェルター」工場施設及び本社 設計室の視察

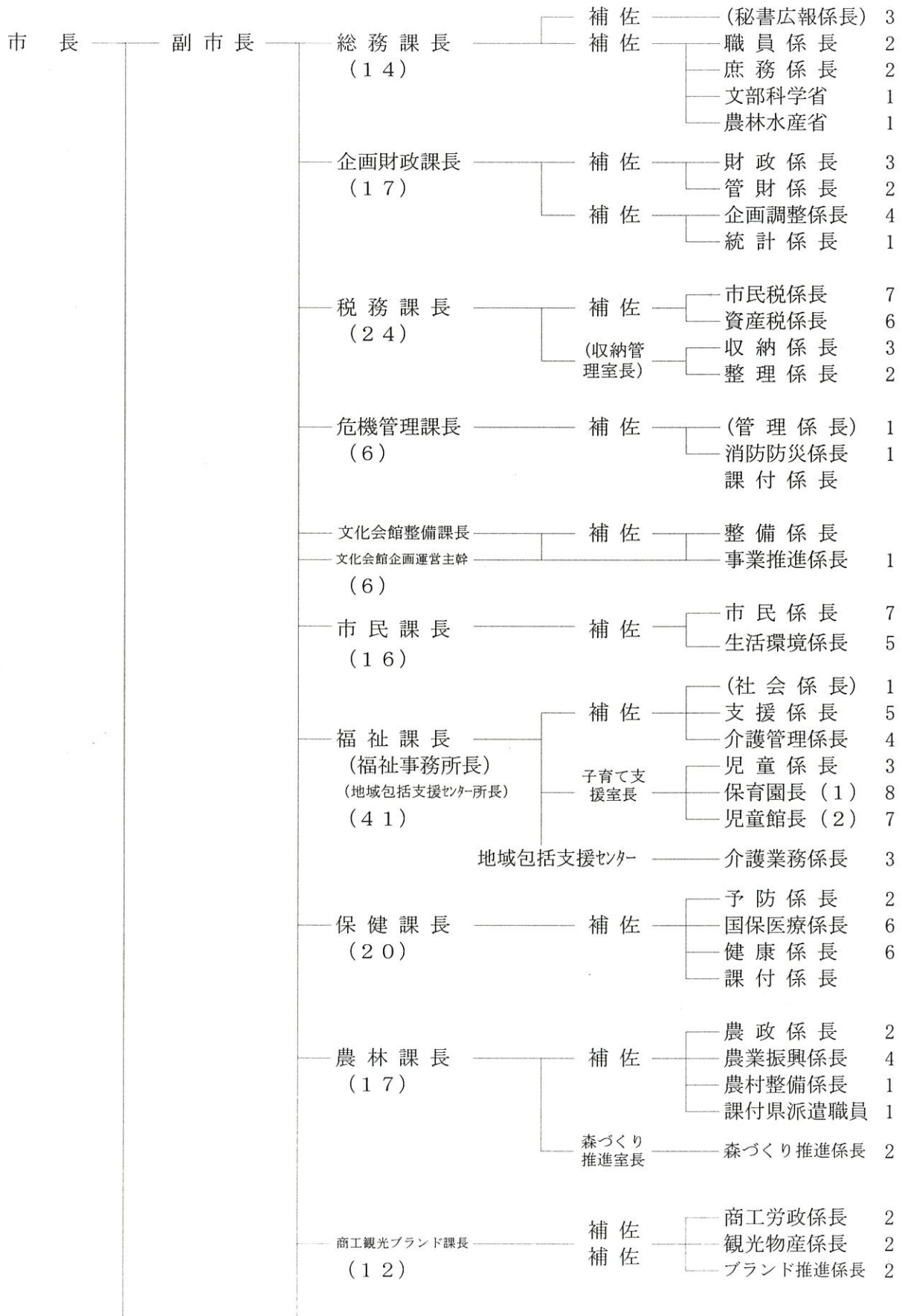
産業建設常任委員会 7月29日～31日	北海道北見市	1. 北見市新エネルギー・省エネルギービジョンについて
	北海道津別町	1. 津別単板協同組合バイオマスエネルギーセンターについて
	北海道斜里町	1. 知床しゃりブランド認証制について 2. 地場産業連携支援事業について
文教厚生常任委員会 8月26日～28日	香川県東かがわ市	1. 土曜日授業運営モデル事業について
	岡山県倉敷市	2. ライフパーク倉敷について
議会報編集委員会 10月16日～17日	群馬県渋川市	1. 議会だよりの編集、発行、全般について

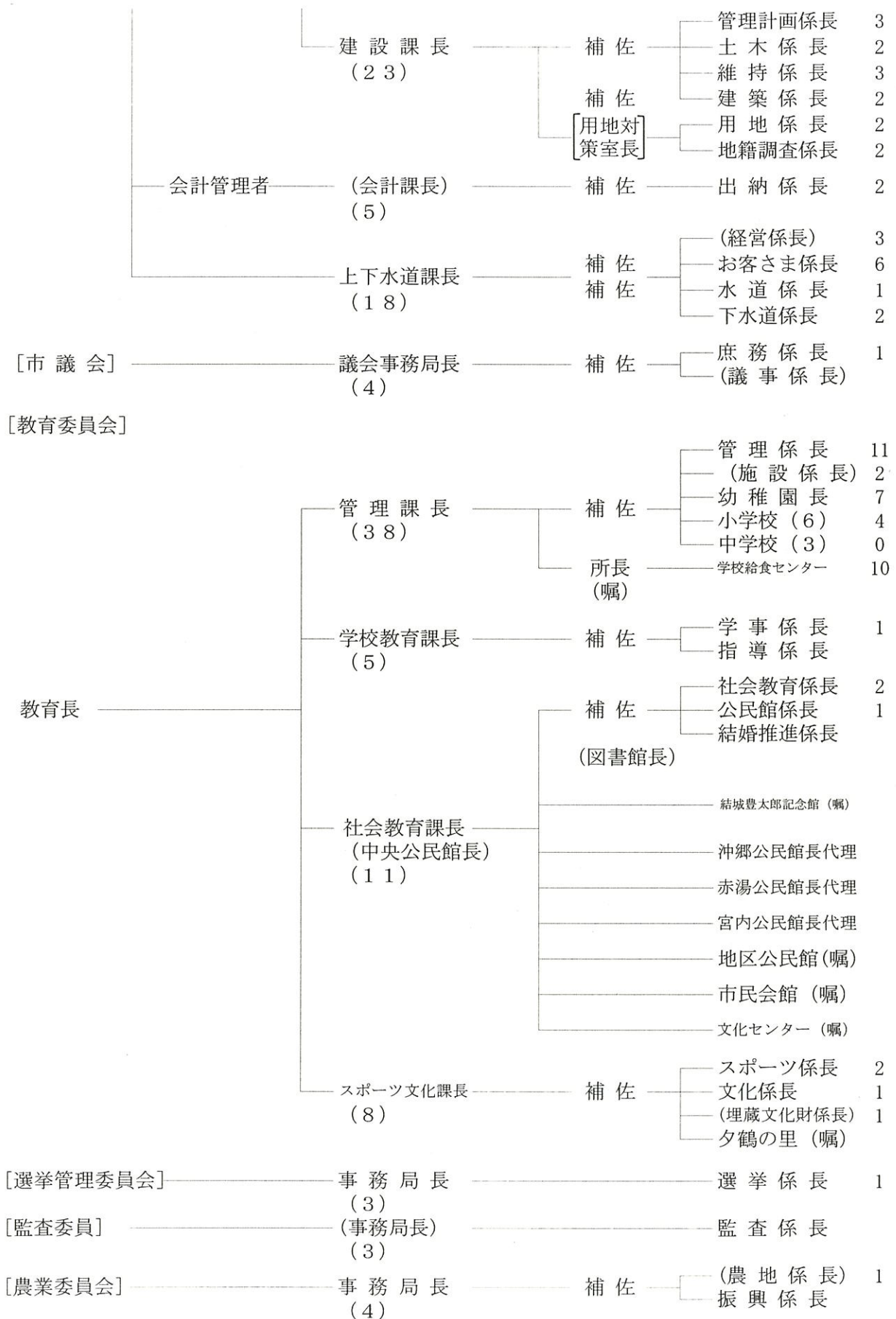
1 1. 行政視察来市状況

月 日	議 会 名	調 査 事 項	人数 (内随行)
10月23日	茨城県筑西市	1. 文化会館の整備について 2. 夕鶴の里資料館	9(2)
10月30日	群馬県大泉町	1. 企業情報発信事業の実態状況について	5(1)
11月12日	新潟県加茂市	1. 企業の森づくりについて	3(0)
11月14日	福岡県太宰府市	1. 南陽市青年教育推進事業について	4(0)
11月18日	新潟県燕市	1. 南陽ブランド推進について	4(0)
1月21日	茨城県守谷市	1. 地域総合型教育について 2. 幼保小中一貫教育について	6(0)
3月18日	宮城県富谷町	1. 南陽市青年教育推進事業について	1(0)
3月28日	山形県尾花沢市	1. 南陽市新文化会館施設整備事業について	1(0)

南陽市組織機構図

平成26年4月1日





※職名 () 書きについては、兼務職。右端の数値については役職以外の職員数。

2. 歴代市長

代位	氏名	生年月日	就任年月日	退任年月日	摘要
職務 執行者	佐藤 義一	M. 35. 11. 3	S. 42. 4. 1	S. 42. 4. 17	S. 42. 4. 1 市制施行
初代	〃	〃	S. 42. 4. 28	S. 50. 3. 29	
2	遠藤 東平	T. 5. 11. 7	S. 50. 4. 28	S. 53. 3. 10	
3	須藤 直一郎	M. 39. 11. 22	S. 53. 4. 16	S. 53. 6. 15	
4	新山 昌孝	T. 15. 6. 8	S. 53. 7. 30	S. 61. 7. 29	
5	大竹 俊博	S. 14. 12. 2	S. 61. 7. 30	H. 10. 7. 29	
6	荒井 幸昭	S. 15. 6. 23	H. 10. 7. 30	H. 18. 7. 29	
7	塩田 秀雄	S. 27. 12. 11	H. 18. 7. 30	在職中	

3. 歴代助役（～H19. 3. 31）・副市長（H19. 4. 1～）

代位	氏名	生年月日	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	三浦 玄一	M. 44. 10. 15	S. 43. 11. 1	S. 51. 10. 31	
2	鈴木 繁次	T. 8. 3. 18	S. 53. 1. 1	S. 53. 2. 2	
3	村山 純一	T. 12. 11. 12	S. 53. 6. 1	S. 61. 5. 31	
4	滝澤 政	S. 3. 10. 11	S. 62. 6. 1	H. 7. 3. 31	
5	笹木 明夫	S. 9. 2. 8	H. 7. 4. 1	H. 9. 3. 31	
6	高山 和夫	S. 12. 3. 15	H. 9. 5. 1	H. 13. 4. 30	
7	大場 忠夫	S. 20. 11. 20	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	
8	柴田 誠	S. 20. 1. 29	H. 18. 10. 1	H. 22. 9. 30	
9	安達 正司	S. 27. 4. 2	H. 23. 4. 1	在職中	

4. 歴代収入役

代位	氏名	生年月日	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	近野 伊重	M. 40. 5. 13	S. 42. 7. 1	S. 46. 6. 30	
2	新山 清一	T. 4. 2. 15	S. 46. 10. 1	S. 50. 9. 30	
3	佐々木 富次郎	T. 7. 6. 11	S. 50. 10. 1	S. 54. 9. 30	
4	殿岡 広司	T. 12. 2. 8	S. 55. 4. 1	S. 61. 8. 31	
5	滝澤 政	S. 3. 10. 11	S. 61. 10. 1	S. 62. 5. 31	
6	竹田 光雄	S. 4. 7. 29	S. 62. 6. 1	H. 5. 3. 31	
7	笹木 明夫	S. 9. 2. 8	H. 5. 4. 1	H. 7. 3. 31	
8	後藤 武夫	S. 15. 8. 15	H. 7. 4. 1	H. 15. 3. 31	
9	齋藤 誠一	S. 19. 10. 31	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	

5. 平成26年度 議会費 (当初予算)

(単位：千円)

区 分(節)	平成26年度		平成25年度		比較 増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 報 酬	74,640	40.8	74,640	40.4	0	0.0
2 給 料	17,782	9.7	17,077	9.3	705	4.1
3 職員手当	32,395	17.7	31,838	17.2	557	1.7
4 共 済 費	44,738	24.5	47,774	25.8	△ 3,036	△ 6.4
8 報 償 費	86	0.0	89	0.0	△ 3	△ 3.4
9 旅 費	5,678	3.1	5,769	3.1	△ 91	△ 1.6
10 交 際 費	800	0.4	800	0.4	0	0.0
11 需 要 費	1,547	0.9	1,323	0.7	224	16.9
12 役 務 費	250	0.1	258	0.2	△ 8	△ 3.1
13 委 託 料	960	0.5	960	0.5	0	0.0
14 使用料及び賃借料	1,162	0.7	1,140	0.6	22	1.9
18 備品購入費	32	0.0	232	0.1	△ 200	△ 86.2
19 負担金補助 及び交付金	2,960	1.6	3,033	1.7	△ 73	△ 2.4
27 公 課 費						
合 計	183,030	100.0	184,933	100.0	△ 1,903	△ 1.0

6. 平成26年度 一般会計（当初予算）

歳 入

（単位：千円）

区 分	平成26年度		平成25年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 市 税	3,375,824	25.4	3,350,047	27.7	25,777	0.8
2 地方譲与税	143,000	1.1	140,000	1.1	3,000	0.2
3 利子割交付金	7,900	0.0	7,500	0.1	400	5.3
4 配当割交付金	4,700	0.0	3,000	0.0	1,700	56.7
5 株式等譲渡所得割交付金	1,500	0.0	800	0.0	700	87.5
6 地方消費税交付金	320,000	2.4	270,000	2.2	50,000	18.5
7 自動車取得税交付金	15,000	0.1	31,000	0.2	△ 16,000	△ 51.6
8 地方特例交付金	14,000	0.1	14,000	0.1	0	0.0
9 地方交付税	4,483,000	33.8	4,347,000	36.0	136,000	3.1
10 交通安全対策特別交付金	6,200	0.0	6,500	0.0	△ 300	△ 4.6
11 分担金及び負担金	215,069	2.0	237,287	2.0	△ 22,218	△ 9.4
12 使用料及び手数料	101,607	0.7	100,233	0.8	1,374	1.4
13 国庫支出金	1,358,050	10.2	1,298,789	10.7	59,261	4.6
14 県支出金	1,093,483	8.2	1,016,193	8.4	77,290	7.6
15 財産収入	19,341	0.1	19,866	0.2	△ 525	△ 2.6
16 寄附金	17,003	0.1	9,003	0.1	8,000	88.9
17 繰入金	713,270	5.4	21,638	0.2	691,632	3,196.4
18 繰越金	200,000	1.5	200,000	1.7	0	0.0
19 諸収入	174,553	1.3	184,444	1.5	△ 9,891	△ 5.4
20 市債	1,006,500	7.6	842,700	7.0	163,800	19.4
合 計	13,270,000	100.0	12,100,000	100.0	1,170,000	9.7

歳 出

(単位:千円)

区 分	平成26年度		平成25年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 議 会 費	183,030	1.4	184,933	1.5	△ 1,903	△ 1.0
2 総 務 費	1,346,190	10.1	1,331,839	11.0	14,351	1.1
3 民 生 費	4,279,738	32.3	4,028,345	33.3	251,393	6.2
4 衛 生 費	781,101	5.9	841,260	7.0	△ 60,159	△ 7.2
5 労 働 費	56,681	0.4	56,307	0.5	374	0.7
6 農林水産業費	1,400,389	10.6	381,007	3.1	1,019,382	267.5
7 商 工 費	296,903	2.2	348,726	2.9	△ 51,823	△ 14.9
8 土 木 費	1,516,153	11.4	1,483,186	12.2	32,967	2.2
9 消 防 費	503,960	3.8	508,508	4.2	△ 4,548	△ 0.9
10 教 育 費	1,156,292	8.7	1,172,851	9.7	△ 16,559	△ 1.4
11 災害復旧費	35,400	0.3	35,400	0.3	0	0.0
12 公 債 費	1,694,155	12.8	1,707,630	14.1	△ 13,475	△ 0.8
13 諸 支 出 金	8	0.0	8	0.0	0	0.0
14 予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.2	0	0.0
合 計	13,270,000	100.0	12,100,000	100.0	1,170,000	9.7

7. 平成26年度 各会計予算

(一般会計・特別会計)

(単位：千円)

区 分		平成26年度 当初予算額	平成25年度 当初予算額	比較増減	
				予算額	増減率(%)
一般会計		13,270,000	12,100,000	1,170,000	9.7
特別 会 計	国民健康保険特別会計	3,603,644	3,629,064	△ 25,420	△ 0.7
	財産区特別会計	102,077	131,607	△ 29,530	△ 22.4
	小滝簡易水道事業特別会計	38,464	40,450	△ 1,986	△ 4.9
	育英事業特別会計	5,964	7,284	△ 1,320	△ 18.1
	介護保険特別会計	3,036,295	2,888,394	147,901	5.1
	後期高齢者医療特別会計	320,759	318,094	2,665	0.8
	小 計	7,107,203	7,014,893	92,310	1.3
合 計		20,377,203	19,114,893	1,262,310	6.6

(企業会計)

(単位：千円)

区 分			平成26年度 当初予算額	平成25年度 当初予算額	比較増減	
					予算額	増減率(%)
水道事業	収益的収支	収入	849,578	846,915	2,663	0.3
		支出	803,698	806,984	△ 3,286	△ 0.4
	資本的収支	収入	51,657	55,317	△ 3,660	△ 6.6
		支出	288,987	267,375	21,612	8.1
	※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税 資本的収支調整額、建設改良積立金で補填					
下水道事業	収益的収支	収入	1,043,543	883,276	160,267	18.1
		支出	1,026,130	877,228	148,902	17.0
	資本的収支	収入	673,352	592,451	80,901	13.7
		支出	1,030,368	971,272	59,096	6.1
	※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税 資本的収支調整額で補填					

8. 平成26年度 一般会計歳出予算（性質別予算）

（単位：千円）

区 分	平成26年度当初		平成25年度当初		比較増減 (A)-(B)
	予算額(A)	構成比 (%)	予算額(B)	構成比 (%)	
人件費	2,305,155	17.4	2,315,271	19.1	△ 10,116
物件費	1,254,262	9.5	1,266,099	10.5	△ 11,837
維持補修費	241,797	1.8	218,677	1.8	23,120
扶助費	2,536,931	19.1	2,415,286	19.9	121,645
補助費等	2,270,092	17.1	2,236,027	18.5	34,065
普通建設事業費	1,579,570	11.9	568,171	4.7	1,011,399
災害復旧事業費	35,400	0.3	35,400	0.3	0
公債費	1,694,139	12.8	1,707,614	14.1	△ 13,475
積立金	13,173	0.1	13,401	0.1	△ 228
投資及び出資金					
貸付金	111,000	0.8	118,000	1.0	△ 7,000
繰出金	1,208,481	9.1	1,186,054	9.8	22,427
予備費	20,000	0.1	20,000	0.2	0
合 計	13,270,000	100.00	12,100,000	100.00	1,170,000
特定財源	3,494,355	26.3	3,040,461	25.1	453,894
一般財源	9,775,645	73.7	9,059,539	74.9	716,106

